

回 覧

発 行:余市協会病院

発行日:平成 29 年 3 月 1 日

発行人:吉田 秀明

編集人:広報委員会

お問い合わせ:0135-23-3126



VOL.153 3月号



「鬼は外福は内」
 二月三日節分、当院初の試みである「豆まき」を行いました。
 ロビー、病棟を鬼が徘徊しましたが、勇敢な患者様達とご家族の豆により無事退治して頂きました。患者様そして余市協会病院にもきっと福が訪れることでしょう！
 皆様ご協力ありがとうございました！



赤ちゃん用の古着を集めています

タイ、ミャンマー国境沿いの地域では、病院や保健施設へのアクセスが悪く十分に妊娠期のケアが受けられていない妊婦さんがいます。

そんな妊婦さんと生まれてくる子どもを応援したい、そんな思いから母子保健のプロジェクトを始めました。

もう着なくなってしまった、小さくなってしまったという服をお持ちで、タイの妊婦さんへ寄付をしてくださる方がいらっしゃいましたら、ご協力いただけると嬉しいです。



ターソンヤン母子保健プロジェクトについてはこちら→



集めているもの

新生児用の肌着、1-2歳児くらいまでの洋服、帽子や靴下
 *洗濯済みのものをお願いします。
 *汚れや破損がひどいものはご遠慮ください。

期間

2017年3月31日ころまで

*病院に直接持ってきていただくか、下記まで連絡ください。

お問い合わせ

余市協会病院
 地域医療国際支援センター 田中綾
 0135-23-3126

アイスクャンドル

今年も正面玄関前にアイスクャンドルを設置しました！



救急件数 (1月)

外来受診270件 うち入院40件
 救急車来院75件 うち入院30件

「虚血性腸炎」

こんにちは！小樽市立病院研修医2年目の大江悠希と申します！余市協会病院では1月の1か月間研修をさせて頂きました。余市での日々は毎日が刺激的で、大変充実した経験になりました。ご指導頂きました先生方には心より深謝致します。

さて、今回のテーマは虚血性腸炎です。馴染みのない病気でしょうか？でも、実はご高齢の方には結構多い病気なんですよ！

1.虚血性腸炎ってなに??

ある臓器に動脈の血がいきわたらないことでおこる病気を虚血性疾患といい、心筋梗塞や脳梗塞がその代表です。大腸の動脈がふさがっておきる「腸梗塞」のことを、虚血性腸炎(きょけつせいちょうえん)と言います。

2.なにが原因なの??

大腸の動脈が何らかの原因でふさがることでおきます。不整脈や動脈硬化が原因となり、高齢者におきやすい病気です。便秘が発症の引き金になることも多いです。

3.どんな症状がでるの??

「朝から急に左下腹部が痛くなり、トイレへ行ったら赤黒い便がでてびっくりした。」というのが典型例です。多くは数日で出血がおさまり腹痛も消えますが、治る過程で腸が狭くなったり、穴があいたりすることがあります。

4.どんな検査をするの??

高齢者におこる急激な腹痛と血性下痢で、症状や経過からある程度予想することができます。しかし、確定診断には大腸カメラや、注腸X線検査が必要です。また、食中毒や、薬による大腸炎もよく似た症状を呈することがあるので注意が必要です。

5.どういう治療が必要なの??

多くは絶食・点滴などの保存的治療により1週間程で症状が治まります。腸を休めてあげることが治療の根幹となります。稀に重症化した際には手術が必要となることがあります。

6.どうしたら予防できるの??

予防法としては、「食生活の改善」の一言に限ります。原因となる動脈硬化と便秘を改善する事が第一です。日々の食事によって私達の体は作られており、動脈硬化や便秘といった症状はその結果です。病院で指摘されている方は、日々の食生活を見直しましょう。

以上、簡単ではありますが虚血性腸炎についてでした！皆さん、ずっと美味しいものを食べるためにも、日々の食事には気を付けましょうね！

小樽市立病院研修医2年目 大江 悠希

